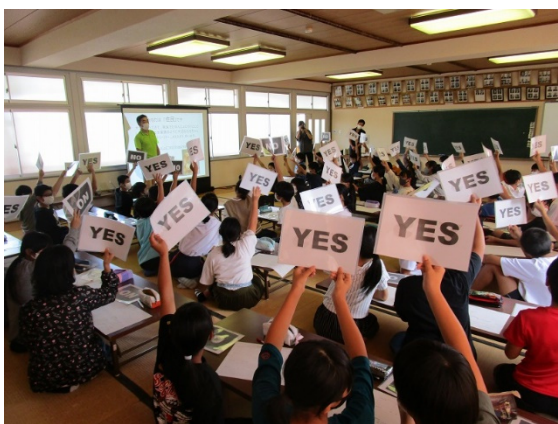


# 「災害から学ぶ」パッケージ学習事業 利用の手引き



西予市復興支援室

はじめに ～あの日を決して風化させない～

平成30年7月豪雨（以下、「7月豪雨」と言います。）では、かつてないほどの河川氾濫や土砂災害などが発生し、尊い命が失われるとともに、甚大な被害が発生しました。

7月豪雨の経験を決して風化させず、この経験と教訓を生かし、更なる防災減災学習の推進を図るため、令和3年度より『「災害から学ぶ」パッケージ学習事業』を実施しています。

今年度からは、新たに開館した「四国西予ジオミュージアム」と連携した学習メニューや、地震・津波に関するVR体験メニューを新設しました。

7月豪雨から学ぶことを基本テーマとしつつ、地震・津波など市内で起こりうる災害を幅広く学びことができます。自分たちが住む地域を足元から見つめ、防災減災活動を実践していくことができるように、西予市ジオパーク推進室、危機管理課、復興支援室、愛媛大学、災害語り部が協働しながら進めていきます。

是非、学校での防災減災学習の機会にご活用ください。

**【本事業の狙い】**

- 災害の教訓を、学校教育の場で生かすこと。
- 展示室の見学と座学を組み合わせ、防災減災学習を深化させること。
- コロナ禍でも、市内でできる校外学習の機会を提案すること。
- 本事業の取組みを、将来的に学校教育における体系的な防災教育の確立に繋げること。

# 目次

|  |    |
|--|----|
| はじめに ～あの日を決して風化させない～ .....               | 2  |
| 1 「災害から学ぶ」パッケージ学習事業とは .....              | 5  |
| (1) 概要 .....                             | 5  |
| (2) 学習の構成 .....                          | 6  |
| (3) 実施場所 .....                           | 7  |
| ① 実施場所 .....                             | 7  |
| ② 集合場所 .....                             | 7  |
| (4) 経費負担 .....                           | 7  |
| ① 市で負担する経費 .....                         | 7  |
| ② 学校で負担する経費 .....                        | 7  |
| 2 利用方法 .....                             | 8  |
| 3 必須・選択学習一覧 .....                        | 10 |
| (1) 必須学習 .....                           | 10 |
| ・展示室を活用した学習（案内・解説なし） .....               | 10 |
| ・展示室を活用した学習（災害語り部による案内・解説あり） .....       | 11 |
| ・展示室を活用した学習（語り部による案内・解説あり）※短縮時間バージョン ... | 12 |
| (2) 選択学習 .....                           | 13 |
| ・地図から読み解く減災講座 .....                      | 13 |
| ・大地の下を見つめてみよう！ .....                     | 14 |
| ・ブラのむら～ジオ×防災 まちを歩いて考えよう！～ .....          | 15 |
| ・私達は動く大地に住んでいる～四国西予ジオミュージアムで学び大地の動き～ ... | 17 |
| ・地震から命を守る .....                          | 19 |
| ・風水害から命を守る .....                         | 20 |
| ・避難のときに命をつなぐ大事な物を選ぼう .....               | 21 |
| ・自助・共助の重要性を学ぶ .....                      | 22 |
| ・みんなが安心してすごせる避難所をつくるために .....            | 23 |
| ・未来の防災倉庫を置いたらどこに？（※） .....               | 24 |
| ・クロスロードで学ぶ防災 .....                       | 25 |
| ・防災キャンプ（※） .....                         | 26 |
| ・マイタイムラインを作ろう .....                      | 27 |
| ・災害 VR・AR の体験（風水害編） .....                | 28 |
| ・災害 VR・AR の体験（地震・津波編） .....              | 29 |
| (3) 学習時間割（タイムスケジュール）の例 .....             | 30 |
| 4 学習成果の提出 .....                          | 32 |

|   |                          |    |
|---|--------------------------|----|
| 5 | 学習成果の公共化.....            | 32 |
|   | (1) 「学びの循環」の推進.....      | 32 |
|   | (2) 広報媒体への学習成果の掲載.....   | 32 |
| 6 | 実施要領.....                | 33 |
| 7 | その他.....                 | 35 |
|   | (1) 西予市子ども教育振興基金の活用..... | 35 |
|   | (2) 参考情報.....            | 35 |


# 1 「災害から学ぶ」パッケージ学習事業とは

## (1) 概要

乙亥会館の「災害伝承展示室（以下、「展示室」と言います。）」を活用した学習（必須学習）と、座学やまちあるき学習（選択学習）を組み合わせた学習が一度に行える仕組み（＝パッケージ学習）です。「展示室の見学」だけではなく、選択学習で更なる災害・防災減災学習を行うことで、より意義深い学習の機会を提供します。

【参考：学習の一例】

・2020.10.12 当時の野村小学校6年生が行った学習です。

| 時間          | 内容  |
|-------------|---|
| 10：00～11：00 | <p><b>○座学</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施者：市危機管理課</li> <li>・場所：乙亥会館研修室</li> <li>・テーマ：「避難のときにいのちを守る大事な物を選ぼう」</li> <li>・内容：風水害を想定し、避難グッズを選ぶグループワーク</li> </ul>  |
| 11：00～12：00 | <p><b>○展示室の見学</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施者：災害語り部、市ジオパーク推進室 他</li> <li>・場所：展示室、乙亥会館1階の床地区</li> <li>・方法：3班に分かれ、VR視聴とジオミニ学習をローテーションして学習</li> </ul>          |



※展示室の概要については、別冊「参考資料」をご参照ください。

## (2) 学習の構成

必須学習と選択学習で構成しています。

展示室を活用した学習を必須学習とし、選択学習は以下のメニューから選択することができます。

【参考：学習メニュー早見表】※詳細は、P. 10～をご覧ください

| 【必須学習】  |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 展示室を活用した学習 (※3 パターンから選択可能)               <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 案内・解説なしの見学のみ：60分</li> <li>→ 災害語り部による案内・解説あり：60分 (最も基本的なパターン)</li> <li>→ 災害語り部による案内・解説ありの短縮バージョン：30分</li> </ul> </li> </ul>   |
| 【選択学習】  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地図から読み解く減災講座 (ジオパーク推進室)：45分～</li> <li>・ 大地の下を見つめてみよう！ (ジオパーク推進室)：45分</li> <li>・ ブラのむら～ジオ×防災 まちを歩いて考えよう！～ (ジオパーク推進室他)：120分</li> <li>・ <a href="#">私たちは動く大地に住んでいる～ 四国西予ジオミュージアムで学ぶ大地の動き～ (ジオパーク推進室)</a></li> <li>・ 地震から命を守る (危機管理課)：45～50分</li> <li>・ 風水害から命を守る (危機管理課)：45～50分</li> <li>・ 避難のときに命をつなぐ大事な物を選ぼう (危機管理課)：45～50分</li> <li>・ 自助・共助の重要性を学ぶ (危機管理課)：45～50分</li> <li>・ みんなが安心してすごせる避難所をつくるために (愛媛大学)：90分</li> <li>・ 未来の防災倉庫を置くならどこに？ (愛媛大学)：単元2日分 (360分) ※</li> <li>・ クロスロードで学ぶ防災 (愛媛大学)：45分</li> <li>・ 防災キャンプ (愛媛大学他)：1泊2日 ※</li> <li>・ マイタイムラインを作ろう (愛媛大学)：要相談</li> <li>・ 災害 VR・AR の体験 (風水害編) (復興支援室)：30分</li> <li>・ <a href="#">災害 VR・AR の体験 (地震津波編) (復興支援室)：45分</a></li> </ul> |

・ [青字](#)は新設メニュー

・ 時間等の都合により、必須学習のみを行うことも可能ですが、選

択学習も同時履修していただくことをお勧めします。

・※印がついた選択学習は事前相談が必要な学習を指します。詳しくは各ページをご覧ください。

### (3) 実施場所

#### ① 実施場所

乙亥会館（野村町野村 12-10）で実施します。

座学は同会館研修室で、屋外学習（まちあるき学習等）は、乙亥会館周辺エリアで実施します。

ただし、「私たちは動く大地に住んでいる（ジオパーク推進室）」は四国西予ジオミュージアム（城川町下相 945 番地）で実施します。

#### ② 集合場所

乙亥会館とします。大型車両駐車可能な無料駐車場が完備されています。

### (4) 経費負担

#### ① 市で負担する経費

以下に掲げる学習本体に係る経費を市で負担します。

- ・講師招聘に係る経費（語り部案内料等）
- ・会場の使用に係る経費（乙亥会館研修室使用料・四国西予ジオミュージアム入館料等）
- ・資料の印刷に係る経費（学習本体で必要となる資料等）

#### ② 学校で負担する経費

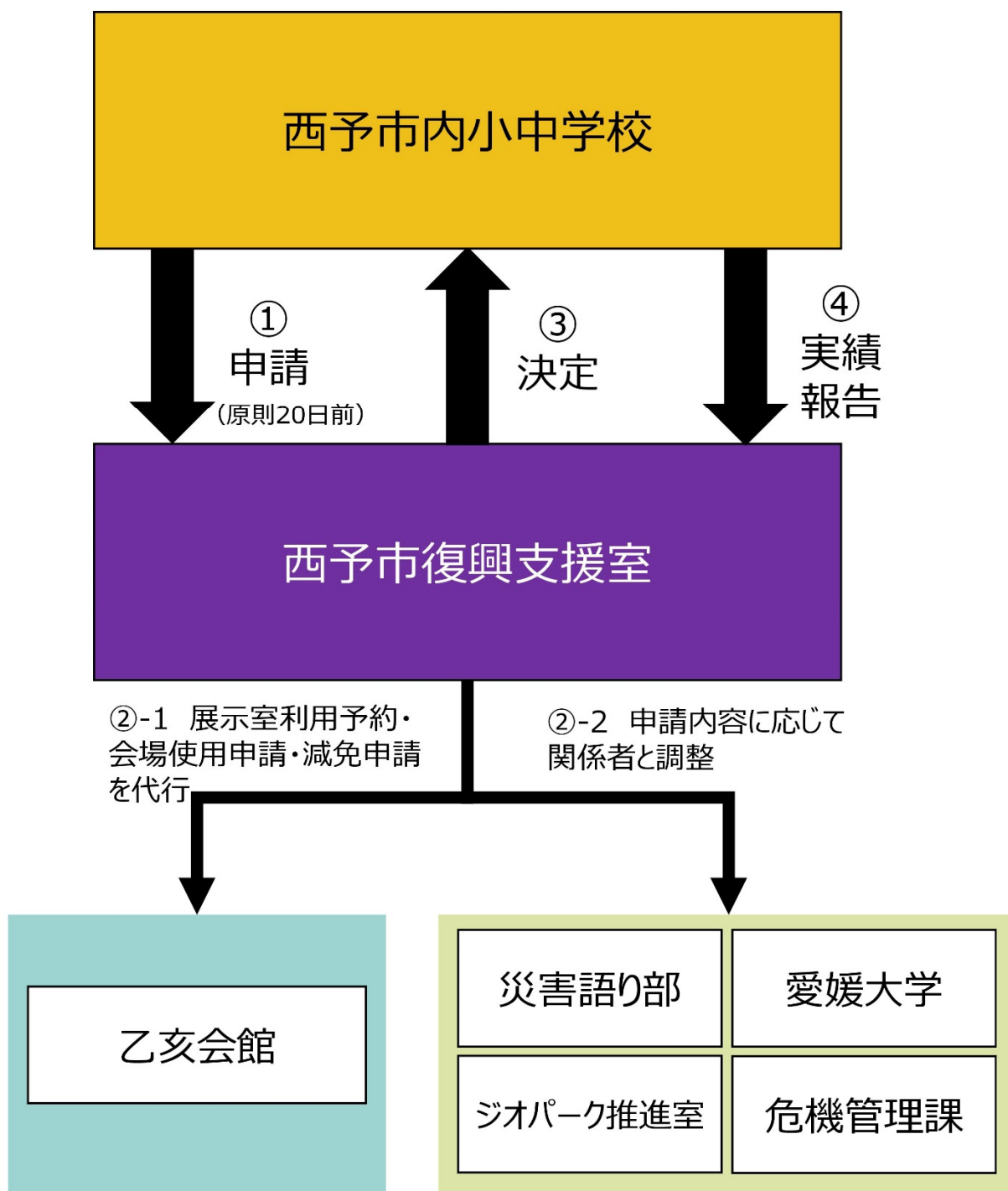
移動にかかる経費等、「①市で負担する経費」以外の経費は学校での負担をお願いします。

また、移動の手配についても学校での手配をお願いします。

## 2 利用方法

原則、実施を希望する日の20日前までに申込書（様式第1号）を西予市復興支援室まで提出してください。申込書を受理後、学習内容の調整などを経て、実施を決定します。

【参考：申込等の流れ】





(留意事項)

- ・ 申込書は、原則作成したデータをメールでご提出ください。  
(メール機能が使えない場合は紙提出でも構いません)

■ 提出先：[fukkoushien@city.seiyo.ehime.jp](mailto:fukkoushien@city.seiyo.ehime.jp)

- ・ メール未着等防止のため、メールを送信後、電話で申込を送信した旨ご一報をお願いいたします。

■ 電 話：0894-72-0843

- ・ 学習内容、時間割、行程などの確定に向け、複数回連絡調整が必要になります。申込書には、必ず日頃連絡が取れやすい連絡先を明記してください。

【参考：申込書様式（申請者の記入部分のみ抜粋）】

(様式第1号)

### 「災害からまなぶ」 パッケージ学習申込書

申込年月日: 令和 年 月 日

※左枠の中をご記入ください


|  |   |      |      |                   |
|--|---|------|------|-------------------|
| 学校名  | 学校  |      | 担当者名 |                   |
| 連絡先<br>(※日頃連絡が取りやすい連絡先を記載してください)                             | 学校電話  | 担当者  |      | 担当者               |
|  | E-mail  | 携帯電話 |      |                   |
| 希望する日時   | 年 月 日( 曜日)<br>午前・午後 時 分頃 ～ 時 分頃   |      |      |                   |
| 必須学習<br>※本研修の「必須学習」をご一読いただき、希望するバージョンに○を付けてください。             | 【 】見学のみの ・ 【 】災害語り部による案内解説あり ・ 【 】短編バージョン   |      |      |                   |
| 希望する選択学習<br>【複数可】<br>※本研修の「選択学習一覧」をご一読いただき、希望する学習に○を付けてください。 | <input type="checkbox"/> 映画から読み解く防災講座(シオバーク推進室)<br><input type="checkbox"/> 大具の下から見つめてみよう！(シオバーク推進室)<br><input type="checkbox"/> プラのむら〜シオバーク×防災 まちを歩いて考えよう〜(連携学習)<br><input type="checkbox"/> 私達は働く大地に住んでいる〜四国西予シオバークミュージアムで学ぶ大地の動き〜(シオバーク推進室)<br><input type="checkbox"/> 地震から命を守る(危機管理課)<br><input type="checkbox"/> 風水害から命を守る(危機管理課)<br><input type="checkbox"/> 避難のときに命をつなぐ大事な物を選ぶ(危機管理課)<br><input type="checkbox"/> 自助・共助の重要性を学ぶ(危機管理課)<br><input type="checkbox"/> みんなが安心してすごせる避難所をつくるために(愛媛大学)<br><input type="checkbox"/> 未来の防災意識を置くならどこに？(愛媛大学)<br><input type="checkbox"/> クロスロードで学ぶ防災(愛媛大学)<br><input type="checkbox"/> 防災キャンプ(愛媛大学)<br><input type="checkbox"/> マイタイムラインをつくる(愛媛大学)<br><input type="checkbox"/> 災害VR-ARの体験(風水害編)(復興支援室)<br><input type="checkbox"/> 災害VR-ARの体験(地震津波編)(復興支援室)<br><input type="checkbox"/> その他( ) |      |      |                   |
| 【特記事項】<br>選択学習の中で特に扱ってほしい内容など(希望があれば)                        |   |      |      |                   |
| 雨天時の対応   | 中止 ・ 雨天決行 ・ 延期 ・ 小雨決行   |      |      |                   |
| 利用者の情報   | 学年  | クラス数 | 人数   | 児童・生徒<br>引当者<br>名 |
| 交通手段   | 車両台数  | 合    |      |                   |
| 適用科目   | 生活科 ・ 理科 ・ 社会科 ・ 総合的な学習の時間 ・ 特別活動 ・ その他( )  |      |      |                   |
| 学習の<br>ねらい   |   |      |      |                   |
| 事前、事後の学習の<br>予定  |   |      |      |                   |
| その他  |   |      |      |                   |

### 3 必須・選択学習一覧




#### (1) 必須学習

必須学習の内容等について、詳細を記載します。

#### ・展示室を活用した学習（案内・解説なし）

|                   |  |
|-------------------|--|
| テーマとなる災害種別        | 風水害、土砂災害、（一部、地震も含む）  |
| ねらい               | 7月豪雨の記録と記憶を知り、教訓として生かすことで防災減災に対する基礎知識を養い、防災対応力の向上に繋がります。   |
| 学習内容<br>（概観）      | <p>①ゾーン1「まちのこと」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・西予市の成り立ち、過去に起きた災害の記録、7月豪雨の概要を学びます。</li> </ul> <p>②ゾーン2「あの日」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・映像、写真、当時の新聞記事から7月豪雨の詳細を学びます。</li> </ul> <p>③ゾーン3「復興への歩み」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・復興に向けて、どのような出来事や取組みがあったのかを学びます。</li> </ul> <p>④ゾーン4「まなぶ、かんがえる、まもる」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当時の教訓や各種の防災情報から、適切な防災減災行動について学び、みんなで考え合います。</li> </ul> |
|                   |    |
| 実施者               | 主体的な見学   |
| 所要時間              | 40分～60分（※20名を想定した時間）   |
| 対象学年              | 小学1年生以上（※5年生までに習わない漢字を中心にふりがなあり）   |
| 準備物<br>【（）内は市が準備】 | 筆記用具、ノート   |
| その他               | <p>※新型コロナウイルス対策のため、案内時は室内喚起を行う他、大人数の場合は班を分けて入室します。</p> <p>※10名以上の場合、待機時間を作らないため次頁の<a href="#">「災害語り部による案内・解説あり」</a>を推奨します。</p>   |

・展示室を活用した学習（災害語り部による案内・解説あり）

|                   |  |
|-------------------|--|
| テーマとなる<br>災害種別    | 風水害、土砂災害、（一部、地震も含む）  |
| ねらい               | 7月豪雨の経験や教訓談を交えた案内・解説を行うことを通じて、より深い学習の機会を提供し、防災対応力の向上に繋がります。  |
| 学習内容<br>（概観）      | <p>① 展示室の案内・解説（20分）<br/>                 ② 乙亥会館テラスでの案内・解説（20分）<br/>                 ③ 乙亥会館アリーナでの案内・解説（20分）</p> <p>・人数に応じて班を編成し、上記メニューをローテーションしながら案内・解説を行います。</p> <p>①：(P. 10 参照)<br/>                 ②：乙亥会館2階観客席から、被害状況や当時の避難の様子などを解説します。<br/>                 ③：乙亥会館テラスから、肱川や対岸地域の様子を見ながら、被害状況やその後のまちの変遷などを解説します。</p>            |
|                   |    <p>▲ 展示室                      ▲ テラス                      ▲ アリーナ</p> |
| 実施者               | 災害語り部  |
| 所要時間              | 60分（※20～30名を想定した時間）  |
| 対象学年              | 小学1年生以上  |
| 準備物<br>【（）内は市が準備】 | 筆記用具、ノート、（感染症対策用品）   |
| その他               | 学習人数や語り部の人数に応じて、メニューの時間割やローテーション方法等は調整する場合があります。   |


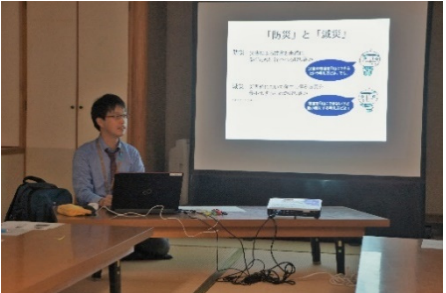
・展示室を活用した学習（語り部による案内・解説あり）※短縮時間バージョン

|                   |  |
|-------------------|--|
| テーマとなる災害種別        | 風水害、土砂災害、（一部、地震も含む）  |
| ねらい               | <u>要点のみに絞って短時間で学習するパターンです。行程上限られた時間しか確保できない場合や、50分以上の選択学習と組み合わせる場合に使用することが可能です。</u>  |
| 学習内容<br>（概観）      | <p>① 展示室の案内・解説（10分）<br/>         ② 乙亥会館テラスでの案内・解説（10分）<br/>         ③ 乙亥会館アリーナでの案内・解説（10分）</p> <p>・人数に応じて班を編成し、上記メニューをローテーションしながら案内・解説を行います。</p> |
| 実施者               | 災害語り部  |
| 所要時間              | 30分（※20～30名を想定した時間）  |
| 対象学年              | 小学1年生以上  |
| 準備物<br>【（）内は市が準備】 | 筆記用具、ノート、（感染症対策用品）   |
| その他               |  |



## (2) 選択学習

選択学習の内容等について、詳細を記載します。

### ・地図から読み解く減災講座

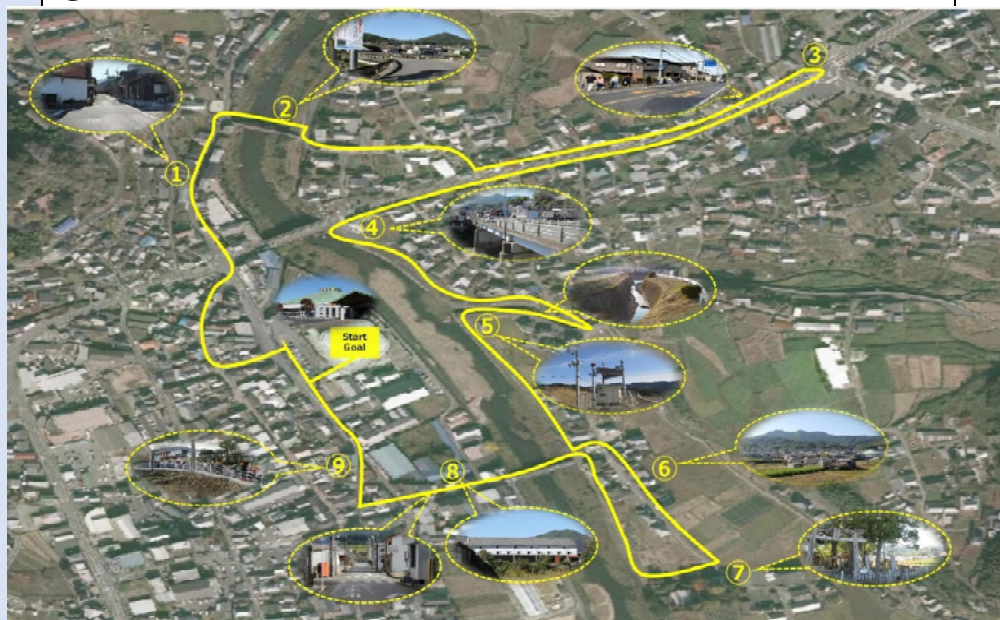
|                    |  |      |         |
|--------------------|--|------|---------|
| テーマとなる災害種別         | 土砂災害、地震、風水害  |      |         |
| ねらい                | 身近な地形や地質の地図を講師と一緒に読み解くことで、自分たちの住む大地の成り立ちの関心を高め、減災につなげます。   |      |         |
| 学習内容<br>(概観)       | <p>本学習は屋内（教室内）プログラムです。</p> <p>【スケジュール例】</p> <p>①導入（イントロダクション）：5分</p> <p>②地形図の読み方の解説（スライドで説明）：15分<br/>※各学校が位置する、あるいは児童生徒が住む地域の実際の地図を題材に解説します。</p> <p>③地形図の読み方の実践演習：20分<br/>※例題1「地図の中で一番高いところ、あるいは低いところはどこだろう？」<br/>※例題2「尾根を赤線で、谷を青線でなぞってみよう！」<br/>※例題3「川が氾濫して3m増水した！浸水する場所を赤で塗りつぶしてみよう！」<br/>上記のような課題に1問ないし2問取り組みます。</p> <p>④本時の振り返り：5分</p> |      |         |
| 実施者                | ジオパーク推進室   |      |         |
| 所要時間               | 45分～   | 対象学年 | 小学4年生以上 |
| 準備物<br>【( )内は市が準備】 | 筆記用具、(実習用地理院地図、PC、プロジェクター、スクリーン)   |      |         |
| その他                |  <p>谷のすじをかいてみよう！ <a href="https://maps.gpo.go.jp/">https://maps.gpo.go.jp/</a></p>    |      |         |

・大地の下を見つめてみよう！

|                   |  |      |         |
|-------------------|--|------|---------|
| テーマとなる<br>災害種別    | 土砂災害、地震、風水害、津波   |      |         |
| ねらい               | 乙亥会館災害伝承展示室の入り口に設置したカラフルな床地図は、岩石の種類で大地を色分けした地質図です。大地の下にはどんな特徴があるのか、この大きな地図から学ぶことで自然災害発生のメカニズムへの関心を高めます。  |      |         |
| 学習内容<br>(概観)      | <p>本学習は屋内（教室外）プログラムです。</p> <p>【スケジュール例】</p> <p>—前半：研修室で座学—</p> <p>①導入（イントロダクション）：5分</p> <p>②地震の仕組みと2次被害について（スライドで説明）：15分</p> <p>—後半：床地図の見学—</p> <p>③四国の地質と南海トラフに関する解説：20分</p> <p>④本時の振り返り：5分</p> |      |         |
| 実施者               | ジオパーク推進室   |      |         |
| 所要時間              | 45分  | 対象学年 | 小学4年生以上 |
| 準備物<br>【（）内は市が準備】 | 筆記用具、（PC、プロジェクター、スクリーン）  |      |         |
| その他               |                           |      |         |


## ・ブラのむら～ジオ×防災 まちを歩いて考えよう！～

|            |  |
|------------|--|
| テーマとなる災害種別 | 土砂災害、地震、風水害  |
| ねらい        | まち（乙亥会館周辺）を歩きながら、①災害時にその場で起こったこと（7月豪雨）、②その場の地形や条件等（ジオの視点）などの情報を収集・整理して、適切な避難行動を考えます。                                   |
| 学習内容（概観）   | <p>本学習は屋外（教室外）プログラムです。</p> <p>【スケジュール例】</p> <p>—乙亥会館玄関前集合—</p> <p>①導入（イントロダクション）：5分</p> <p>②まち歩きスタート（2班に分かれる）：110分</p> |



| ポイント       | ポイント名 | 解説内容（案）           |
|------------|-------|-------------------|
| Start/Goal | 乙亥の里  | ・場所の特徴、浸水状況など     |
| ①          | 石久保地区 | ・地形や特徴、被害状況など     |
| ②          | 石久保橋  | ・巨石の存在など          |
| ③          | 権現    | ・河成段丘（高低差）を体感するなど |
| ④          | 野村大橋  | ・川幅の様子など          |
| ⑤          | 氏宮川   | ・支川氾濫の様子など        |
| ⑥          | 三島町   | ・被害状況、土地の成り立ちなど   |
| ⑦          | 三嶋神社  | ・水害の歴史、被害状況など     |
| ⑧          | 商店街通り | ・まちの構造、高低差を知るなど   |
| ⑨          | 古道    | ・高低差を知るなど         |

③振り返りまとめ：5分

|                   |   |      |         |
|-------------------|---|------|---------|
| 実施者               | ジオパーク推進室、復興支援課、危機管理課、災害語り部  |      |         |
| 所要時間              | 120分  | 対象学年 | 小学4年生以上 |
| 実施場所              | 野村町野村地区   |      |         |
| 準備物<br>【()内は市が準備】 | 筆記用具、(ワークシート、拡声マイク、ラミネート資料)   |      |         |
| その他               |  |      |         |



・私達は動く大地に住んでいる～四国西予ジオミュージアムで学ぶ  
大地の動き～

|                        |  |
|------------------------|--|
| <p>テーマとなる<br/>災害種別</p> | <p>土砂災害、地震、風水害</p>   |
| <p>ねらい</p>             | <p>四国西予ジオミュージアムの展示を見て、西予市における自然災害と大地の動きを理解する。</p>  |
| <p>学習内容<br/>(概観)</p>   | <p>本学習は屋内（四国西予ジオミュージアム内）プログラムです。</p>  <p>(四国西予ジオミュージアム 内観写真)</p> <p>【スケジュール例】</p> <p>①導入：5分</p> <p>②北部宇和海エリア解説：10分<br/>(リアス海岸の地形がもたらす「災い」と「恵み」)</p>   <p>③肱川上流エリア解説：10分<br/>(河成段丘が分布する野村の大地と河成段丘が分布しない宇和の大地の違い)</p>   <p>④四国カルスト・舟戸川エリア解説：10分</p> |

|                   |  |
|-------------------|--|
|                   | <p>(四国カルストと惣川の地形と人々の暮らしについて)</p>  <p>⑤黒瀬川エリア解説：10分<br/>(城川の地形と人々の暮らしについて)</p>  <p>⑥本時の振り返り、質疑応答：10分</p> |
| 実施者               | ジオパーク推進室ジオミュージアム係  |
| 所要時間              | 60分  |
| 準備物<br>【()内は市が準備】 | 筆記用具、タブレット…持ち出し可能な場合<br>(適宜、解説用ラミネート資料等)   |
| その他               | <p>○災害伝承展示室での学習後、ジオミュージアムまで移動しての学習となります。</p> <p>○災害伝承展示室からジオミュージアムまでの移動時間：車で片道約20分</p> <p>○入館料(常設展示室)は、<u>中学生以下無料</u>。本事業で申込された場合は<u>引率教諭の方も無料</u>とします。</p>  |





**【場所】**  
西予市城川町下相 945 番地  
(西予市城川支所すぐ横)

**【電話】**  
0894-89-4028

**【その他】**  
乙亥会館からの距離：約 12 km


## ・地震から命を守る

|                   |   |      |           |
|-------------------|---|------|-----------|
| テーマとなる<br>災害種別    | 地震・津波   |      |           |
| ねらい               | 今後 30 年以内に発生する確率が 80%ともいわれている南海トラフ巨大地震から命を守るためのポイントを学び、実際に地震が発生した時の対応を学びます。   |      |           |
| 学習内容<br>(概観)      | ①導入（イントロダクション）：5 分<br>～以下スライド及び DVD～40～45 分<br>②南海トラフ巨大地震の概要<br>③地震、津波発生メカニズム<br>④被害想定、全国、県、西予市の被害想定を説明<br>被害を軽減させるポイント（備え、対策の重要性）<br>⑤避難のポイント  |      |           |
| 実施者               | 危機管理課   |      |           |
| 所要時間              | 45～50 分   | 対象学年 | 小学 1 年生以上 |
| 準備物<br>【（）内は市が準備】 | 筆記用具、(PC、プロジェクター、スクリーン)   |      |           |
| その他               | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県所有の地震体験車も可能</li> <li>→ 要協議。不可の場合もあります。</li> <li>→ 体験の場合は、所要時間が変更になります。</li> </ul> <p>(参考写真)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> |      |           |

## ・風水害から命を守る

|                    |   |      |           |
|--------------------|---|------|-----------|
| テーマとなる<br>災害種別     | 風水害、土砂災害  |      |           |
| ねらい                | 平成 30 年 7 月豪雨災害の経験を踏まえ、風水害及び土砂災害時の避難の時期、経路、場所などの重要なポイントを学び、実際に災害が発生した時の対応を学びます。         |      |           |
| 学習内容<br>(概観)       | ①導入（イントロダクション）：5 分<br>～以下スライド及びDVD～40～45 分<br>②豪雨の要点と注意点<br>③土砂災害・水害発生メカニズム<br>④避難のポイント |      |           |
| 実施者                | 危機管理課   |      |           |
| 所要時間               | 45～50 分   | 対象学年 | 小学 1 年生以上 |
| 準備物<br>【() 内は市が準備】 | 筆記用具、(PC、プロジェクター、スクリーン)   |      |           |
| その他                |   |      |           |

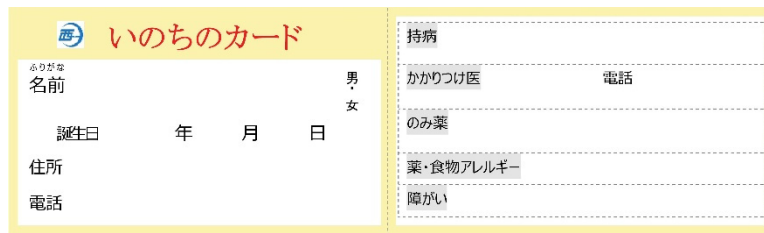
・避難のときに命をつなぐ大事な物を選ぼう

|                   |  |      |         |
|-------------------|--|------|---------|
| テーマとなる<br>災害種別    | 全ての災害  |      |         |
| ねらい               | 実際の避難を想定して、「命をつなぐために何を持って避難するか」をメインテーマとして、数多くある避難グッズから持っていけるものには限りがある（5つ程度）設定のもと、どれを選ぶかグループワークで考えることを通じ、事前に何を備えておくべきかを学び、防災対応力の向上につなげます。 |      |         |
| 学習内容<br>(概観)      | ①導入（イントロダクション）：5分<br>②グループワーク：25分<br>『テーマ：「命をつなぐ」ために必要な5つを選ぼう』<br>③発表：10分<br>④まとめ：5分   |      |         |
| 実施者               | 危機管理課  |      |         |
| 所要時間              | 45～50分   | 対象学年 | 小学1年生以上 |
| 準備物<br>【（）内は市が準備】 | 筆記用具、（避難グッズ、ワークシート、PC、プロジェクター、スクリーン）   |      |         |
| その他               |    |      |         |

・ 自助・共助の重要性を学ぶ

|                   |  |      |         |
|-------------------|--|------|---------|
| テーマとなる<br>災害種別    | 全ての災害  |      |         |
| ねらい               | 災害を自分事として捉え、自分の身は自分で守り、自分たちの地域は自分たちで守ることを理解し、市や防災関係機関との連携の必要性を学び、家庭や地域で自分たちにできることを考えます。          |      |         |
| 学習内容<br>(概観)      | ①導入（イントロダクション）5分<br>～以下、スライドにより説明～40～45分<br>②自主防災組織の概要<br>③自主防災組織の活動内容<br>④自助共助の重要性<br>⑤防災訓練の必要性 |      |         |
| 実施者               | 危機管理課  |      |         |
| 所要時間              | 45～50分   | 対象学年 | 小学3年生以上 |
| 準備物<br>【（）内は市が準備】 | 筆記用具、(PC、プロジェクター、スクリーン)  |      |         |
| その他               |  |      |         |

・みんなが安心してすごせる避難所をつくるために

|                   |  |      |         |
|-------------------|--|------|---------|
| テーマとなる<br>災害種別    | 全ての災害  |      |         |
| ねらい               | 命のカードの取組の意味や意義を考察したうえで、掲載されている項目やその取組みについて他の類似する取組と比較・関連付けることで検討し、より望ましい取組みを提案することにつなげます。  |      |         |
| 学習内容<br>(概観)      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・命のカードの取組の概要を学ぶ。</li> <li>・命のカードの効果を考える。</li> <li>・改善点はないか考える。</li> </ul>   |      |         |
| 実施者               | 愛媛大学教育学部 井上昌善 講師   |      |         |
| 所要時間              | 90分  | 対象学年 | 小学4年生以上 |
| 準備物<br>【()内は市が準備】 | 筆記用具、(PC、プロジェクター、スクリーン)  |      |         |
| その他               | <p>【参考：いのちのカード（西予市作成）】</p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>・避難生活に必要な対応を正確に伝えるためのものです。<br/>→ 持病、服用薬、アレルギーなどを事前に記載し、いざというときに携帯します。</li> <li>・より良い取組みを考え、提案します。</li> </ul> |      |         |

・未来の防災倉庫を置くならどこに？（※）

|                   |  |
|-------------------|--|
| テーマとなる<br>災害種別    | 全ての災害  |
| ねらい               | 防災倉庫の設置場所の特徴を考察したうえで、未来の防災倉庫の設置場所について考えます。   |
| 学習内容<br>(概観)      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災倉庫の設置場所の位置の特徴を考察する。</li> <li>・地形の特徴・災害発生リスクを踏まえ、設置場所として適切かどうかを考察する。</li> </ul>                                       |
| 実施者               | 愛媛大学教育学部 井上昌善 講師   |
| 所要時間              | 6時間（フィールドワーク含む）  |
| 対象学年              | 小学6年生以上  |
| 準備物<br>【（）内は市が準備】 | 筆記用具、（PC、プロジェクター、スクリーン）  |
| その他               | <p>※事前打ち合わせや入念な準備が必要になりますので、実施を希望される場合は、<u>希望日の2か月前までに事前にご相談ください</u>。（相談後、申請をしていただきます）</p> <p>※<u>原則、10月～1月の期間で実施可能です</u>。</p> <p>※単元を2日に分けて実施することを基本とします。</p> |




## ・クロスロードで学ぶ防災

|                           |  |
|---------------------------|--|
| <p>テーマとなる<br/>災害種別</p>    | <p>地震、風水害</p>  |
| <p>ねらい</p>                | <p>災害時の行動をテーマにしたクロスロードを通して、自分の問題として考える（主体的に判断する）能力を身につけます。</p>   |
| <p>学習内容<br/>（概観）</p>      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・愛媛県内で起きた過去の災害を知る</li> <li>・クロスロードの説明             <ul style="list-style-type: none"> <li>・クロスロード・・・判断の分かれ道</li> <li>・災害時に起こる難しい判断を迫られる場面を想定し、どう行動するかを考えるもの</li> </ul> </li> <li>・クロスロード（2問）             <ul style="list-style-type: none"> <li>・問題を見て、個人個人で YES か NO かを考える。</li> <li>・選んだ理由を書く。</li> <li>・グループで話し合う。</li> <li>・グループの意見を基に再度考える。</li> </ul> </li> <li>・まとめ</li> </ul> <div data-bbox="619 1041 1225 1496" data-label="Image"> </div> |
| <p>実施者</p>                | <p>愛媛大学社会共創学部 松村暢彦 講師</p>  |
| <p>所要時間</p>               | <p>45 分</p>  |
| <p>準備物<br/>【（）内は市が準備】</p> | <p>筆記用具、(Yes/No カード、ワークシート)</p>  |
| <p>その他</p>                |  |

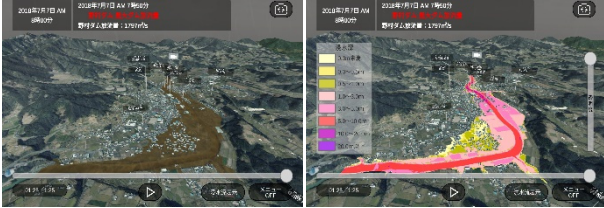

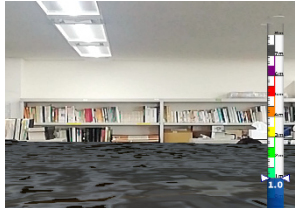
## ・防災キャンプ（※）

|                   |  |
|-------------------|--|
| テーマとなる<br>災害種別    | 風水害  |
| ねらい               | 学校を舞台に学校や地域社会、関係機関等が協力して、防災キャンプを実施することで防災の大切さを実感させる。共通の体験を通して、地域の一員としての自覚を育てる。   |
| 学習内容<br>(概観)      | 想定される災害や被災に対して、関係機関と連携して、学校を避難所として、児童生徒を中心に防災キャンプを実施する。  |
| 実施者               | 愛媛大学社会共創学部 松村暢彦 講師   |
| 所要時間              | 1泊2日   |
| 準備物<br>【()内は市が準備】 | 内容に応じて要相談  |
| その他               | <p>※事前打ち合わせや入念な準備が必要になりますので、実施を希望される場合は、<u>希望日の2か月前までに事前にご相談ください</u>。(相談後、申請をしていただきます)</p> <p>※<u>原則、9月以降の実施を想定しています</u>。(夏休み期間中の実施希望等がある場合も、2か月前までに事前にご相談ください。)</p> |


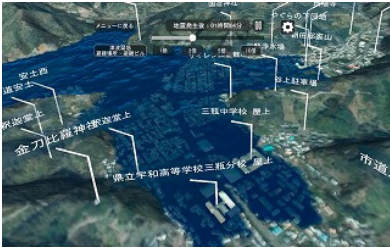
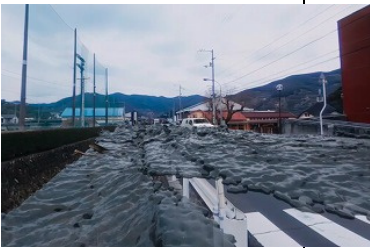
## ・マイタイムラインを作ろう

|                   |  |
|-------------------|--|
| テーマとなる<br>災害種別    | 風水害  |
| ねらい               | 西予市ハザードマップを使って、自分にとって大切なものは何か、それを守るために、災害が予想されるときにどのようなタイミングで何を始めればよいかを考えることを通して、自分で判断して行動できる能力を養う。  |
| 学習内容<br>(概観)      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時の情報収集の重要性を学ぶ。</li> <li>・ハザードマップの読み方を学ぶ。</li> <li>・マイタイムラインの意味・重要性を学ぶ。</li> <li>・実際にマイタイムラインを作成する。</li> <li>・発表</li> </ul>  |
| 実施者               | 愛媛大学社会共創学部 松村暢彦 講師<br>愛媛大学教育学部 井上昌善 講師   |
| 所要時間              | 内容に応じて相談   |
| 準備物<br>【()内は市が準備】 | 筆記用具、(西予市ハザードマップ)  |
| その他               | ・タイムライン・・・災害時に発生する状況をあらかじめ予想し、災害発生時から時間をさかのぼり「いつ」「誰が」「何をするか」に着目して、防災行動を実施するタイミングと必要な時間を時系列で整理した計画です。   |

## ・ 災害 VR・AR の体験（風水害編）

|                   |  |
|-------------------|--|
| テーマとなる<br>災害種別    | 風水害  |
| ねらい               | 7月豪雨による氾濫シミュレーション、部屋にいる状態での浸水シミュレーションなどを、最新の特殊映像技術で体験することで、早期避難等の重要性を学びます。   |
| 学習内容<br>(概観)      | <p>○VR（バーチャル・リアリティー）・・専用ゴーグルをかけて映像をみると、あたかもその映像の世界の中（仮想現実）にいるような体験が可能です。</p> <p>○AR（オーギュメントド・リアリティー）・・実在する風景などに、そこにはない情報（写真など）を付け足したり、合成したりすることで、あたかも新しい現実を見ているような体験をすることが可能です。タブレットで視聴します。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">  </div> <p style="text-align: center;">▲ 浸水シミュレーション</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <p>▲ VR 体験の様子</p> <p>▲ AR での浸水体験</p> </div> |
| 実施者               | 復興支援室  |
| 所要時間              | 30分（※20名を想定した時間）   |
| 対象学年              | 小学4年生以上  |
| 準備物<br>【（）内は市が準備】 | （VRゴーグル、ARタブレット、感染症対策用品）   |
| その他               | <ul style="list-style-type: none"> <li>・VRゴーグルは5台（増設予定）、ARタブレットは5台配備しています。</li> <li>・学習人数に応じてローテーション等をしながら行います。</li> </ul>   |

## ・災害 VR・AR の体験（地震・津波編）

|                   |  |
|-------------------|--|
| テーマとなる<br>災害種別    | 地震・津波  |
| ねらい               | 最新の特殊映像技術によって地震・津波を疑似体験することができます。疑似体験を通じて、屋内・屋外それぞれの場面で、災害が発生した場合の適切な避難行動を学びます。  |
| 学習内容<br>(概観)      | <p>○以下のコンテンツを体験することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・南海トラフ巨大地震とは</li> <li>・地震疑似体験 <ul style="list-style-type: none"> <li>・屋内編（リビング・室内）</li> <li>・屋外編（市街地・山間部）</li> </ul> </li> <li>・津波疑似体験 <ul style="list-style-type: none"> <li>・地上視点（三瓶地域・明浜地域 各1地点）</li> <li>・津波シミュレーション <ul style="list-style-type: none"> <li>・鳥瞰視点（三瓶地域・明浜地域 各3地点）</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>・クイズ</li> </ul> <p>○「南海トラフ巨大地震とは」は、通常のテレビ画面で詳細版を見ることができます。まず、詳細版を見た後各種コンテンツを視聴する流れになります。</p> <p>○クイズを使って、学習成果を試すこともできます。</p> |
|                   |      |
|                   | <p>▲ 地震体験（屋内）      ▲ 津波シミュレーション      ▲ 津波疑似体験</p>  |
| 実施者               | 復興支援室  |
| 所要時間              | 45分（※20名を想定した時間）   |
| 対象学年              | 小学4年生以上  |
| 準備物<br>【（）内は市が準備】 | （VRゴーグル、ARタブレット、感染症対策用品）   |
| その他               | <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年8月以降、実施可能です。</li> <li>・事前に「地震から命を守る」を受けていただくことを推奨します。</li> <li>・学習人数に応じてローテーション等をしながら行います。</li> </ul>  |

(3) 学習時間割 (タイムスケジュール) の例

各学習の所要時間を踏まえ、学習スケジュールのパターンをお示しします。実際の時間割は、申込内容を基に調整の上決定していきます。

【条件：半日・午前】

【パターン①：必須+選択 (ジオミュージアム学習)】

| 時間                       | 内容   |
|--------------------------|--|
| 9 : 30                   | 到着 (乙亥会館)  |
| 9 : 35~9 : 40<br>(5分)    | イントロダクション  |
| 9 : 40~10 : 40<br>(60分)  | 【必須学習】<br>・展示室を活用した学習<br>→ 語り部による解説・案内<br>→ テラス・アリーナをローテーション |
| (20分)                    | ジオミュージアムへ移動(※休憩含む)   |
| 11 : 10~12 : 10<br>(30分) | 【選択学習】<br>・私達は動く大地に住んでいる～四国西予ジオミュージアムで学ぶ大地の動き～               |
| 12 : 10                  | 終了   |

【パターン②：必須+選択 (45分学習)】

| 時間                       | 内容   |
|--------------------------|--|
| 9 : 50                   | 到着 (乙亥会館)  |
| 9 : 55~10 : 00<br>(5分)   | イントロダクション  |
| 10 : 00~11 : 00<br>(60分) | 【必須学習】<br>・展示室を活用した学習<br>→ 語り部による解説・案内<br>→ テラス・アリーナをローテーション |
| (10分)                    | 休憩・転換  |
| 1100~11 : 40<br>(30分)    | 【選択学習】<br>・災害 VR・AR の体験 (風水害編)                               |
| 11 : 45                  | 終了   |

【条件：半日・午後】

【パターン③：必須+選択（90分学習）】

| 時間                   | 内容   |
|----------------------|--|
| 13:00                | 到着（乙亥会館）   |
| 13:35～13:40<br>(5分)  | イントロダクション  |
| 13:40～14:10<br>(30分) | 【必須学習】※短縮バージョン<br>・展示室を活用した学習<br>→ 語り部による解説・案内<br>→ テラス・アリーナをローテーション |
| (10分)                | 休憩・転換  |
| 14:20～15:50<br>(90分) | 【選択学習】<br>・みんなが安心してすごせる避難所をつくるために                                    |
| 15:55                | 終了   |

【条件：終日】

【パターン④：必須+選択（120分学習）】

| 時間                    | 内容   |
|-----------------------|--|
| 10:30                 | 到着（乙亥会館）   |
| 10:35～10:40<br>(5分)   | イントロダクション  |
| 10:40～11:40<br>(60分)  | 【必須学習】<br>・展示室を活用した学習<br>→ 語り部による解説・案内<br>→ テラス・アリーナをローテーション |
| (60分)                 | 昼休憩<br>(※会館内の研修室等で昼食可能)<br>(※昼食は各自持参又は確保)                    |
| 12:40～14:40<br>(120分) | 【選択学習】<br>・ブラのむら～ジオ×防災 まちを歩いて考えよう！～（校外学習）                    |
| 14:45                 | 終了   |

#### 4 学習成果の提出

本学習終了後 10 日以内に、学習報告書（様式第 2 号）を西予市復興支援室までご提出ください。申込時と同様、基本的にメールでの提出をお願いします。

#### 5 学習成果の公共化

##### （1）「学びの循環<sup>1</sup>」の推進

学習を通じて得た学びや気づきが、次の他者の気づきや学びに繋がるよう、可能な限り学習成果を記録し、誰でもその成果を閲覧することができるようにしたいと考えています。（＝成果の公共化）

よって、事後学習等の成果や児童の感想等のとりまとめをされたときは、その成果物をご提供いただきますようお願いいたします。

【参考：展示室での「令和 3 年度 野村小学校 6 年生の防災減災学習の成果展示」】



▲ 学習の成果を基に「自分たちが伝承したいこと」を書いて、展示しました。

##### （2）広報媒体への学習成果の掲載

本事業で実施した学習の様子は、西予市ホームページ、広報誌、復興まちづくりかわら版等の媒体でその成果を掲載する場合があります。肖像が掲載されることに支障がある場合は事前にお知らせください。

---

<sup>1</sup> 学んだ成果を自分以外の人々や団体のために活用し、各世代の交流やつながりを深めるとともに、誰もが生き生きと活動できる社会の構築等に寄与するという考え方（参考：埼玉県ホームページより）



## 6 実施要領

### 「災害からまなぶ」パッケージ学習事業 実施要領

#### (目的)

第1 平成30年7月豪雨災害からの復興方針を示した西予市復興まちづくり計画に基づき、乙亥会館内の災害伝承展示室（以下、「展示室」と言う。）の活用と防災減災学習等を組み合わせた学習機会を創出することで、学校教育等の多様な学習機会を通じた児童・生徒の防災減災意識の高揚と災害対応力の向上を図ると共に、より質の高い防災学習の機会を提供する。

#### (事業名称)

第2 当事業は、『「災害からまなぶ」パッケージ学習』（以下、「パッケージ学習」と言う。）と言う。

#### (事業内容)

第3 展示室の見学を必須学習とし、それに加えて別表第1に掲げる選択学習から希望する学習を選択し、原則、必須学習と選択学習を組み合わせた内容を実施する。

#### (事業実施場所)

第4 乙亥会館で実施する。ただし、別表第1で掲げる選択学習のうち、四国西予ジオミュージアムで実施するもの及び2日以上連続学習となるものはこの限りではない。

2 別表第1で定める選択学習のうち、屋外で実施する学習は、野村地区（乙亥会館周辺）で実施する。

#### (経費負担)

第5 学習本体の実施に必要な講師招聘経費、会場使用料及び資料印刷等の経費を市で負担する。

2 前項以外は一切の経費はパッケージ学習を申込する者（以下、「申込者」と言う。）の負担とする。

3 現地までの移動手段は、申込者が確保し自己の責任において運行する。

#### (対象者)

第6 パッケージ学習の対象となる者は、西予市内の小学校及び中学校とする。

#### (申請)

第7 申請者は、「災害から学ぶ」パッケージ学習申込書（様式第1号）を西予市政策推進課復興支援室（以下、「復興支援室」と言う。）

まで提出する。

(決定)

第8 復興支援室は、前条により申込書の提出があったときは、内容等を審査し、申込者及び関係者と調整し、受入が適当であると認めたときは、速やかに実施の決定をし、申込者に通知する。

(申請の変更)

第9 申込者は、決定後、申込事項に変更が生じたときは、速やかに復興支援課まで、変更内容を記した書面(任意様式)を提出する。

(実績報告)

第10 申込者は、事業完了後、速やかに「災害から学ぶ」パッケージ学習報告書(様式第2号)を復興支援室に提出する。

(経費の支払い)

第11 復興支援室は、前条の規定による報告書の提出があったときは、その内容を確認し、適当と認めたときは第5第1項で規定する経費を負担する。

2 支払いは、復興支援室が直接債権者に支払うこととし、申込者を経由しない。

(事業の広報)

第12 パッケージ学習実施の状況等は、市広報誌、市ホームページ等、紙及びウェブ媒体を通じ広報することがある。

(その他)

第13 この実施要領に定めるもののほか、事業の実施に必要な事項は別に定める。

別表第1 選択学習一覧

| 標題                                  | 実施者       | 所要時間   |
|-------------------------------------|-----------|--------|
| 地図から読み解く減災講座                        | ジオパーク推進室  | 45分～   |
| 大地の下を見つめてみよう!                       | ジオパーク推進室  | 45分    |
| ブラのむら～ジオ×防災 まちを歩いて考えよう!～            | ジオパーク推進室他 | 120分   |
| 私達は動く大地に住んでいる～四国西予ジオミュージアムで学ぶ大地の動き～ | ジオパーク推進室  | 60分    |
| 地震から命を守る                            | 危機管理課     | 45～50分 |
| 風水害から命を守る                           | 危機管理課     | 45～50分 |
| 避難のときに命をつなぐ大事な物を選ぼう                 | 危機管理課     | 45～50分 |
| 自助・共助の重要性を学ぶ                        | 危機管理課     | 45～50分 |

|                        |       |             |
|------------------------|-------|-------------|
| みんなが安心してすごせる避難所をつくるために | 愛媛大学  | 90分         |
| 未来の防災倉庫を置いたらどこに？       | 愛媛大学  | 360分（单元2日分） |
| クロスロードで学ぶ防災            | 愛媛大学  | 45分         |
| 防災キャンプ                 | 愛媛大学他 | 1泊2日        |
| マイタイムラインを作ろう           | 愛媛大学  | 要相談         |
| 災害VR・ARの体験（風水害編）       | 復興支援室 | 30分         |
| 災害VR・ARの体験（地震津波編）      | 復興支援室 | 45分         |

## 7 その他

### （1）西予市子ども教育振興基金の活用

本事業は、西予市教育委員会が所管する「子ども教育振興基金」を活用して実施します。

### （2）参考情報

■西予市ホームページ：乙亥会館「災害伝承展示室」について

<https://www.city.seiyo.ehime.jp/shisei/machidukuri/fukkoumachidukuri/7707.html>

■西予市ホームページ：災害語り部「語り部018のむら」について

<https://www.city.seiyo.ehime.jp/shisei/machidukuri/fukkoumachidukuri/8323.html>

■四国西予ジオパークホームページ

<http://seiyo-geo.jp/>

※各リンクは、Ctrlを押してクリックするとWEBページに移動します。正常に動作しない場合は、リンクをコピー（選択してCtrl+C）して、インターネットの検索窓等に貼り付け（Ctrl+V）をしていただくと表示されます。

■本誌に記載のないことや不明な点等があれば下記までお問い合わせください。

#### 【お問い合わせ先】

〒797-1212 西予市野村町野村12号619番地

西予市政策推進課復興支援室

電話：0894-72-0843

E-mail: fukkoushien@city.seiyo.ehime.jp